

〈発行〉 ふくおか健康友の会  
たたら香椎支部 事務局 092 (691) 5615  
たたらリハビリテーション病院 社保共同組織委員会

支部では友の会新聞の封筒詰めや手配りをお手伝いしていただける方をさがしております。ご自宅周りでもかまいません。協力していただける方がいらっしゃいましたら事務局までご連絡ください。

<お勧め雑誌紹介>あなたと民医連をつなぐ月刊誌「いつでも元気」定価 380 円。医療・介護など、ためになる情報誌。購読は病院受付へ

## 病院フロアで「平和写真展」開催しました。

～広島原爆資料館「市民が描いた原爆の絵」を展示～



ふくおか健康友の会たたら香椎支部は7/30～8/6まで、「平和の写真展」をたたらリハビリテーション病院で開催しました。会場には約200の方が来場されました。この取り組みは今年で11年目を迎え、戦争の歴史を伝えることで、再びこのような悲劇を繰り返さないようにしようというものです。今回は、広島平和記念資料館より取り寄せた「市民が描いた原爆の絵」を病院1階フロアに30点を展示しました。記憶が絵で描かれているので写真にはない様子がうかがえ、来院者は絵の前で足を止め真剣な眼差しで見られており、悲惨な状況を感じられたのではないのでしょうか。当時、兵庫西宮市にいた方は、「広島に原爆が落ちて夕方4時半頃に口伝えでやっと伝わって来た事を思い出しました。可哀想でなんとも言えない。戦争は絶対にいやだ。」と感想を寄せられました。

「市民が描いた原爆の絵」は、1974（昭和49）年、被爆者が描いた1枚の絵がきっかけで、NHK広島放送局が「市民の手で原爆の絵を残そう」と呼びかけたところ、2,225枚に及ぶ絵が寄せられました。これらの絵には体験者だけが描くことのできる真実味があり、生々しい迫力で原爆の悲惨さを伝えています。